

**「地域の公共施設を考える市民ワークショップ」
報告書**

平成 28 年 3 月

●開催概要

本市の公共施設の現状と課題を共有し、具体的な公共施設を想定した最適化シミュレーションを行いながら話し合ってもらくとともに、その際のご意見などをアクションプラン策定の参考とするため、昭和 50 年代までに多くの施設が建設された大和田地域、八千代台地域にてワークショップを開催しました。

なお、開催にあたり、市内の大学生（東京成徳大学）にファシリテーター補助として参加していただきました。

【大和田地域】

回	開催日	参加者	開催場所	開催概要
第1回	8月30日(日) 10時～12時	10人	福祉センター 4階第3・4 会議室	『公共施設の現状と市の取り組みについて』(説明) 『最適化シミュレーション』(グループワーク)
第2回	9月6日(日) 14時～16時	9人	八千代市 大和田新田	『最適化シミュレーション』(グループワーク)
第3回	9月12日(土) 10時～12時	8人	312-5 (市役所隣)	『最適化シミュレーション』(グループワークと発表)

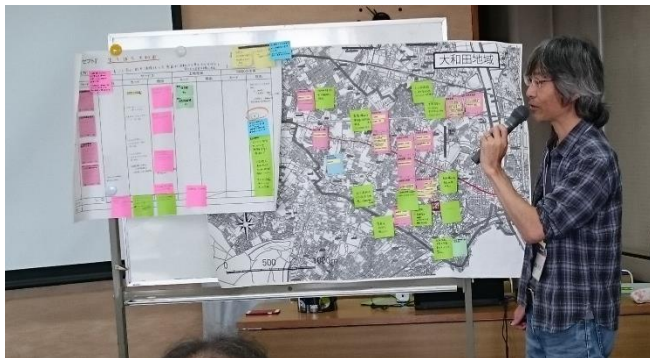
【八千代台地域】

回	開催日時	参加者	開催場所	開催概要
第1回	8月30日(日) 14時～16時	15人	八千代台東南 公共センター	『公共施設の現状と市の取り組みについて』(説明) 『最適化シミュレーション』(グループワーク)
第2回	9月6日(日) 10時～12時	13人	5階ホール 八千代市	『最適化シミュレーション』(グループワーク)
第3回	9月12日(土) 14時～16時	12人	八千代台南 1-11-6	『最適化シミュレーション』(グループワークと発表)

●各地域における発表や意見交換内容

【大和田地域の各グループの最適化の概要】

グループ	A	B
コンセプト	生き返る大和田	「出かけよう」 三世代が明るく過ごす交流しやすい街
最適化の考え方	○すごく古い町を活性化して市民が活動したり集まったりサービスを受けたりできるようにする	○子どもから高齢者まで公共サービスを充実 ○サービス提供方法の見直し ○子ども向けサービスを小学校へ集約
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> 大和田図書館及び別館のサービスは教育委員会庁舎へ移動。 大和田学童保育所のサービスは大和田小学校へ移動。 教育委員会庁舎の行政事務は市役所庁舎へ移動。 すてっぷ21大和田のサービスは駐車場の広い教育委員会庁舎へ移動。 公共施設もある程度有料化していった方が良く考える。利用予約はすべてインターネットで可能にする。 図書の貸出などのサービスを教育委員会庁舎等へ移動した大和田図書館は更地にして、当面は有料駐車場にし、他の公共施設の建替時には種地として活用。 5街区は駅前にあるため、子どもを預けられたり、乳幼児用の支援サービスを提供する施設等への活用を検討した。 	<ul style="list-style-type: none"> 消防分団（第1、第3）は近くの中央消防署に集約。 大和田学童保育所のサービスは大和田小学校へ移動。 大和田図書館別館のサービスは子ども向けなので大和田南小学校へ移動。 教育委員会庁舎の行政事務は市役所庁舎へ移動。 大和田公民館の生涯学習・活動空間の提供サービスは教育委員会庁舎等と類似しており時間をずらすなど工夫して集約。 すてっぷ21大和田のサービスは駐車場の広い教育委員会庁舎へ移動。 市民体育館、市民会館のあまり使われていない会議室等を交流空間として活用するとともに、すてっぷ21などの子育てサービスを拡充。 空き店舗等を活用し、子育てや生涯学習に関するNPO、NGOを市が育成しながらサービスを充実。また、ゆったり過ごせる公共のインターネットカフェのような空間に。 公共施設の最適化は進めつつ、災害時の避難場所として公共施設は必要であり、防災等も考慮すべき。



【大和田地域の意見交換の概要】

- 施設予約について、市の施設全体を管理するサイトがあり、そこで予約できれば施設の利用促進につながると思う。
- Bグループでも、5街区を利用するならば保育サービスや高齢者の一時預かりなどのサービスが良いとの意見があった。
- 5街区の活用の可能性が示されたが、施設の集約化を図る考え方と逆行すると思う。
- 建物の維持費を削減するためには、10年後ではなく今すぐにでも取り組む必要があると思う。
- このような会は初めて参加したが、10年後、20年後を見据えた話し合いができた。
- 今回のワークショップでは小学校やすてっぷ21大和田など、子育て関連の施設が最適化の対象になった。このような施設について議論するのであれば、子育て中の人たち、若い世代の人たち限定で行うといういろいろなアイデアが出ると思う。
- 高齢者のグラウンドゴルフのグループはたくさんあり、電話を掛けてもなかなか施設の予約ができない。場所を分割して予約できるようになると良い。



【八千代台地域の各グループの最適化の概要】

グループ	A	B
コンセプト	子育てしたい、子ども達が戻ってきたい 八千代市	八千代市に住み続けたい！！
最適化の考え方	○学校や子育て支援をなるべく減らさない ○遊休地を活用	○世代別サービスの充実
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・旧八千代台東第二小学校は売却。 ・八千代台図書館の図書の貸出サービスは八千代台西中学校に移動し、勉強スペースも確保。 ・八千代台小学校は昔1学年 4、5 クラスだったが、今は 2 クラス程度であることから、八千代台西小学校に統合。 ・八千代台小学校の建物は駅前で利便性が高いため、複合的な施設に活用。 ・ふれあいサロンやちよ東、旧八千代台東学童保育所のサービスは利便性を良くするため駅前民間施設に移動。 ・八千代台保育園のサービスは八千代台東小学校へ移動。 ・ふれあいサロンやちよ東、旧八千代台東学童保育所、八千代台保育園の建物はまちカフェのような交流サービスとして確保。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス(子育て、高齢者)の均等化を図り、通しやすい場所にサービスを配置。 ・保育園(八千代台、八千代台西)のサービスは小学校に移動。 ・2つある支所のサービスは集約。 ・八千代台東南公民館のサービスは八千代台公民館と駅前民間施設に移動。 ・交番、消防、行政事務や適応支援センターのサービスは専門性が高いため維持。 ・高齢者の交流サービスは中学校に移動し、多世代交流を図る。 ・10年後の八千代市のコスト削減には、認知症や不登校、引きこもり、犯罪等の課題に対し「地域の力」でできることから始めていくことが必要。 ・公民館を集約したが、認知症予防に活用すれば将来コストの縮減になると考える。

グループ	C
コンセプト	よその人も住みたくなる、 子どもと高齢者にもやさしいまち
最適化の考え方	○駅前に公共施設を集約するとともに、身近な場所にコミュニティスペースを充実させ、市民のニーズに柔軟に対応する
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前の両公民館は移動が困難な人も利用しやすい生涯学習等多機能スペースになるので維持。 ・八千代台西保育園の保育サービスは八千代台西小学校に移動。 ・八千代台図書館の図書の貸出サービスは学校(八千代台小、八千代中)に分散し利便性を高める。 ・旧八千代台東学童保育所のサービスは八千代台東小学校に、ふれあいサロンやちよ東のサービスは駅前民間施設に移動。 ・10年後は高齢者も増えている。そのため、地域の中に交流の場が点在することが大事である。今後増えると想定される空き家を有効活用し、介護疲れの人などが集まれる介護サロンや子育てサロンなどを設ける。



【八千代台地域の意見交換の概要】

- Bグループは八千代台東南公民館を集約する提案だったが75%程度の稼働率がある。
→ポイントを達成できないという選択肢もあったが、今回は目標達成のため、公民館を廃止するしかなかった。実際に集約する場合は、施設を利用している人に意見を聴いたりする必要がある。
- Bグループは活動空間の提供を駅前の民間施設へ移動しているが、無料で利用している施設を有料で借りるとなれば、コンセプトにある「住み続けたい八千代市」にならないと思う。
- Cグループでは支所の1つを減らそうとしたが、利便性の高い駅前のため取りやめた。経費削減には、行政に頼らずにボランティアなど地域の力を活かすことを考えたものの、ポイント削減にはつながらなかった。
- 旧八千代台東第二小学校は不便なところに立地していて、安心して利用できない。隣の八千代台近隣公園も同様に治安面で不安があり、私は不要と思うが他の方はどう思っているか。
→私はよく利用しているし、他に親子連れなどもいる。学校は利用時間に制約があり、小さな公園ではアクティブに遊べない。八千代台近隣公園は広く、野球チームが利用したり、長距離走には芝生や土のため適している。将来子育てする時にも、このような子どもが運動できる場所がないと不便だと思う。
- 夕方でも利用できる状態だろうか。
→中学校の卒業生同士など地元の友だちで集まって遊んだりする。子どもや高齢者は治安面で不安かもしれないが、様々な年代の方が利用している。
- 旧八千代台東第二小学校や小体育館の付近は犬の散歩などで人が行き来している。小体育館は剣道等に利用されている。小規模の施設では、物騒で子連れではいけないところもある。皆が集える公園には広い敷地が必要だと思う。
- これから少子化になるが共働きの家庭が増えると思われるので、子育てがしやすいまちづくりが必要だと思う。
- 空き家を利用して託児所に行っているケースも見られる。これから増加すると想定される空き家の活用、アイデアを市で募集してはどうか。

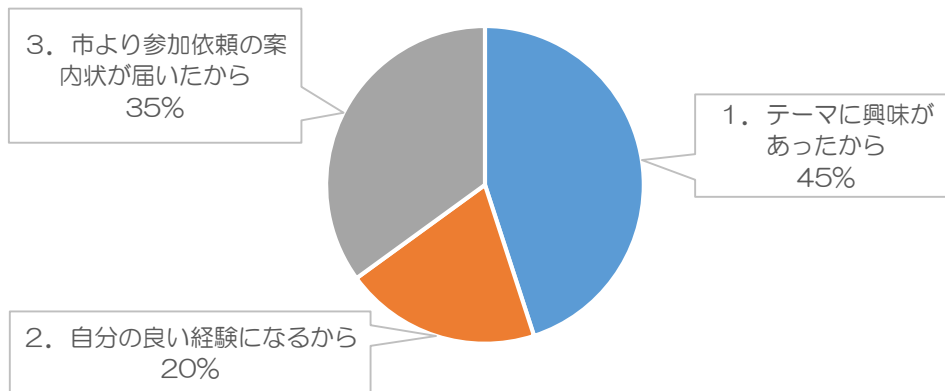


●アンケート結果

①ワークショップへの参加動機

「テーマに興味があったから」が最も多く 45%の人が回答しています。次いで、「市より参加依頼の案内状が届いたから」が 35%、「自分の良い経験になるから」が 20%となっています。

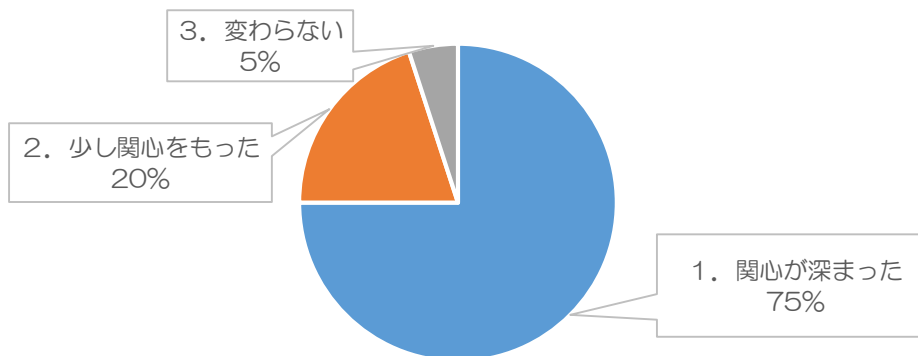
選択肢	回答数
1. テーマに興味があったから	9
2. 自分の良い経験になるから	4
3. 市より参加依頼の案内状が届いたから	7
4. その他	0
合計	20



②ワークショップ参加後の公共施設への関心

「関心が深まった」が最も多く 75%の人が回答しています。次いで、「少し関心を持った」は 20%となっています。なお、「あまり関心はない」と回答した人はいませんでした。

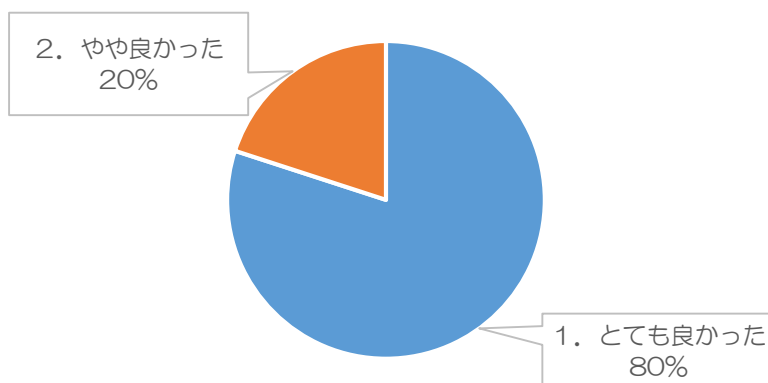
選択肢	回答数
1. 関心が深まった	15
2. 少し関心をもった	4
3. 変わらない	1
4. あまり関心はない	0
合計	20



③ワークショップに参加して良かったか

「とても良かった」が最も多く 80%の人が回答しています。次いで、「やや良かった」は 20%となっています。なお、「あまり良くなかった」「良くなかった」と回答した人はいませんでした。

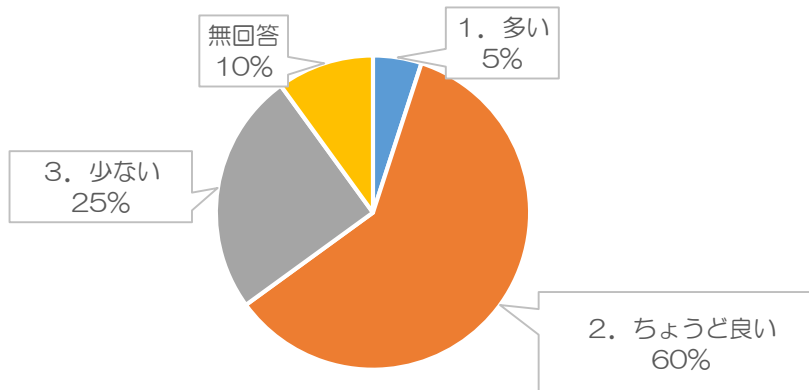
選択肢	回答数
1. とても良かった	16
2. やや良かった	4
3. あまり良くなかった	0
4. 良くなかった	0
合計	20



④ワークショップの回数

「ちょうど良い」が最も多く 60%の人が回答している。次いで、「少ない」が 25%となっています。

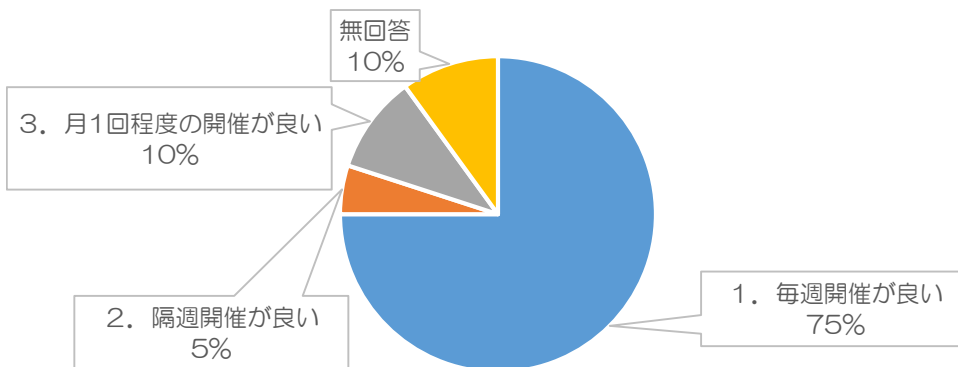
選択肢	回答数
1. 多い	1
2. ちょうど良い	12
3. 少ない	5
無回答	2
合計	20



⑤ワークショップの開催頻度

「毎週開催が良い」が最も多く75%の人が回答しています。次いで、「月1回程度の開催が良い」が10%となっています。なお、「その他」と回答した人はいませんでした。

選択肢	回答数
1. 毎週開催が良い	15
2. 隔週開催が良い	1
3. 月1回程度の開催が良い	2
4. その他	0
無回答	2
合計	20



⑥ワークショップ、公共施設の最適化に関する意見・感想

ワークショップ、公共施設の最適化に関する意見・感想	地域
<p>1. ワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議論進行のためにも叩き台（市の案等）を提示した方がムダがない。 ・公共サービスに期待の高い人を集めるべき。 <p>2. 公共施設の最適化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の施設は、学校、市民会館、体育館等を除き、できる限り所有しない。 ・公共サービスはできる限り、市のウェイトを少なくして行く。 ・一方活動拠点は拡充を目指す。 ・空き家、スーパー・コンビニ等商業施設の活用。運用はNGO・NPO、ボランティアを中心に。→市はNPO、ボランティアの育成に注力。 ・公共施設の利用料について 有料化→民間企業が進行可能な料金まで徐々に上げてゆく。 ・市民会館・体育館→民営化を検討すべき。 	大和田
<p>財政の苦しい八千代のことですから、即解決できるように職員の方のご協力をお願いします。</p>	大和田

大和田住民として討論に参加して参考になりました。	大和田
中央図書館や競技場や新設の橋の建設より、老朽化した施設の更新を考えるべき。ジャンルに分けて開催することも。	大和田
「生き返る大和田」というよいコンセプトができて、よかった。	大和田
公共施設に限定し、ゲーム形式では、一定の答えは出るが、全体としては問題は残る。ワークショップの意味は何か分からないままに参加し、解散となりました。世代間の問題点の差があることを自覚し、反省できました。	八千代台
公共施設の最適化は非常に難しい問題がありますが、1人1人が納得できることは難しいが方向性が示されたと思う。その他、施設以外でも効率化や最適化を進められればと思います。	八千代台
公民館の使い方については、使っている方々を含めてよく議論して欲しい。子どもたちの交流の場にするなど、八千代の魅力になるようなことをどんどん取り入れて欲しい。どうやって税収を増やすか。将来発生するであろう費用を考えて、今できることは何かなど、今後のワークショップの課題としてはどうか。	八千代台
子育て世代も大切、高齢者も大切。土地の売却は最低にして、サロンやカフェなどコミュニティ利用の活用が大切かと思いました。	八千代台
最初は何も分かりませんでしたが、2回、3回と参加するうちに色々な考え方を知り参考になりました。少しでも自分が役立っているなら幸いです。また機会があればぜひ参加したいと思いました。八千代がどうなっていくか楽しみです。ありがとうございました。	八千代台
ボランティアを含むリタイア組の力を借りたり、子育てママさんの組織力を総動員したりして「お金」だけで考えていたら無理なことも可能にすることができるのではないかと希望を持ってました。そういう意味でも「地域力」をUPさせてコミュニティを「チーム八千代」に育てていく必要があると思います。	八千代台
稼働率のいい公共施設、低い施設がわかったことが参考になった。世代の違う方の視点がとても勉強になった。参加されている方々が熱心なので、もっとこのような機会をいろいろなたくさんの方が参加されたら地域の力が強くなるのではないだろうかと思った。行政に頼らず、自分たちでできることを模索していけば、子どもから高齢者までコミュニケーションが行き届いた住みやすい八千代になるのではないだろうか。	八千代台
最後に他のグループの方々の意見を聞いてよかった。住む地域によって求める施設が違うと思うので、皆さんの合意が難しい。	八千代台
今後の公共施設に関する取り組み、動向に注目していきたいと思います。	八千代台
短い時間でしたが、いろいろな意見を交わしながら進めていくことができた。次回もこのような機会を利用して参加できたらと思います。ありがとうございました。	八千代台
このように人々が自分の街に関心を持つことが街を良くするのに一番大事なことだと思うので、もっとたくさんの人に参加して欲しいと思いました。行政だけでなく、市民の熱意が大切だと思います。	八千代台

